



2月は省エネルギー月間です

寒い冬は、暖房機器の利用などにより、エネルギー使用量が増える季節です。今年の冬も感染症の影響で、自宅過ごす時間が増えることが予想されます。おうち時間が増えると、エネルギー使用量が増え、電気代などの光熱費も気になりますね。衣類や暖房機器の使い方を工夫し、経済的で快適な冬を過ごしましょう。

WARMBIZ

ウォームビズを取り入れよう!!

ウォームビズは、環境省が呼び掛けている、暖房時の室温 20℃で快適に過ごすライフスタイルのことです。ウォームビズは、難しい取組ではありませんので、さっそく実践してみましょう。

例えば、暖かい機能性素材の下着を着用することや、室内でもセーターやカーディガンなどを1枚多く着よう工夫してみましょう。

また、首、手首、足首など太い血管のある部分を重点的に温めると、体全体が温まり、冷え症などの改善に役立ちます。

詳しくは、環境省のホームページをご覧ください。

⇒ <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/warmbiz/>



室温
20℃



おたずね／出雲市地球温暖化対策協議会事務局（環境政策課内） ☎21-6535

PM2.5の「注意喚起情報」

冬から春にかけて、PM2.5（微小粒子状物質）の濃度が上昇する傾向があります。

県では、1日の平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ （マイクログラム／立方メートル）を超えると予想される場合等に注意喚起を行います。市では、県からの注意喚起を受けた場合、市のホームページや防災行政無線、ケーブルテレビなどを通じて市民の皆さんへ注意を呼びかけます。

注意喚起情報が発表されたら

- ▶ 屋外での長時間の激しい運動は、減らしましょう。
- ▶ 屋内でも換気や窓の開閉を最小限にするなど、外気の侵入を少なくしましょう。
- ▶ 呼吸器系や循環器系疾患のある人、小児、高齢者は体調に応じて、より慎重に行動しましょう。

外出先で情報を知りたいとき

・『しまね防災情報』をご覧ください。
<https://www.bousai-shimane.jp/>



・『しまね防災メール』に登録してください。



・『速報値』はこの二次元コードからご確認いただけます。



おたずね／環境政策課 ☎21-6987

出雲弥生の森博物館情報

重要文化財旧大社駅保存修理事業

よみがえる大正の駅舎②

旧大社駅現場見学会を開催します！

修理工事中の旧大社駅を公開します。日ごろ見ることができない建物の骨組が見学できます。

■と き：3月20日(日)

■対象者：出雲市民限定

■見学方法：20人(50分)×6回

■応募方法：往復はがき(1人1枚)

※申込多数の場合は抽選

■締切日：2月28日(月) 当日消印有効

※当日の見学時間等は、返信はがきにてお知らせします。

■問合せ先：21-6893(文化財課)



往はがき
信がき

表面 下記のとおり宛先をご記入ください。

〒693-0011 出雲市大津町2760番地
出雲市文化財課「旧大社駅現場見学会」担当 行き

裏面 ご自分の郵便番号・住所・氏名・電話番号を
ご記入ください。

返はがき
信がき

表面 宛先にご自分の郵便番号・住所・氏名を
ご記入ください。

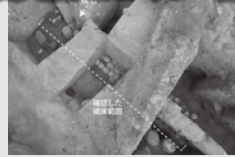
裏面 何も書かないでください。

スポット展 2月2日(水)～5月30日(月)

「徹底解明!常楽寺柿木田1号墳 —神西湖南岸の古墳文化をさぐる—」

古墳時代前半期の前方後円墳である常楽寺柿木田1号墳。その調査成果から神西湖南岸に展開した古墳文化に迫ります。

常楽寺柿木田1号墳の礎床(上から)▶



弥生ブロンズネットワークリレー講座

～弥生時代の出雲地域の歴史を伝える4博物館連携講座～

- | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|
| ① 出雲弥生の森博物館
「郷土の首長墓をめぐる」 | 2月5日(土)
定員20名 | ② 加茂岩倉ガイダンス
「岩倉を歩く」
3月5日(土)
定員10名
③ 古代出雲歴史博物館
「弁天島周辺を歩く」
3月12日(土)
定員20名
④ 荒神谷博物館
「荒神谷」と「四隅」をめぐる」
3月27日(日)
定員20名 |
| ② 加茂岩倉ガイダンス
「岩倉を歩く」 | 3月5日(土)
定員10名 | |
| ③ 古代出雲歴史博物館
「弁天島周辺を歩く」 | 3月12日(土)
定員20名 | |
| ④ 荒神谷博物館
「荒神谷」と「四隅」をめぐる」 | 3月27日(日)
定員20名 | |

自家用車での移動あり

要申込

講座の前日までに古代出雲歴史博物館 ☎53-8600へお申し込みください

◆時間：①④10:00～12:00、②③10:00～11:30
◆詳細は各館へお問い合わせください。



出雲弥生の森博物館

〒693-0011 大津町2760
☎25-1841 FAX 21-6617
メールアドレス：yayoi@city.izumo.lg.jp



みすよちゃん よすみちゃん

入館料・観覧料 無料 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため内容を変更する場合がございます。最新情報は、博物館ホームページをご確認ください。

荒神谷博物館情報

常設展 開催中～3月31日(木)

「出雲の原郷」展

江戸時代の天秤に使われたおもり(分銅)に形が似た「分銅形土製品」が斐川町宮谷遺跡(弥生時代中期)から出土しました。

割れた状態で出土することが多く、祭祀を行った後、意図的に割って願掛けをしたと考えられています。



▲折りをこめた分銅形土製品

ホール展 開催中～2月13日(日) 観覧無料

村岡大吾郎写真展

「『豆の一生』～地域の種子、佐田町固定種黄大豆～」

定例講演会 第198回 2月19日(土) 13:30～15:00

演題：「石棺式石室と古墳時代後期の出雲」
講師：角田徳幸氏(島根県古代文化センター センター長)
資料代：300円 要申込み ※マスクをご着用ください

ホール展 2月19日(土)～4月11日(月)

観覧無料

斐川の農耕生活

～乾田化前の農具を中心に～

民具は、わたしたちが生活のために用いてきた諸道具で、身近で親しみ深い文化財です。斐川文化会館の郷土資料室には、江戸時代末期から幹田化前の昭和30年ごろまでに使用された民具が収蔵されています。

今回の展示では、簸川平野で高畝掘りに用いられてきた窓鎌や踏切など湿地帯の農具を中心にご覧いただけます。



▲窓笠付窓鎌



▲踏切

風土記談義(ゼミ形式)

新型コロナウイルス感染防止のため、既に登録されている会員様限定の開催とさせていただきます。

※感染予防のため中止や入場制限を行う場合がございます。中止、変更などの最新情報は Facebook をご覧ください。

荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休室日 展示室のみ毎週火曜日

申込み・おたすね/
〒699-0503 斐川町神庭873-8
☎72-9044 FAX 72-7695

荒神谷博物館FB 検索 ※最新情報はFacebookをご覧ください。

